

第1回ゼロカーボン匠瑳推進協議会議事録

2022年4月20日

匠瑳市議会棟第3委員会室

<参加者>

FJTEC（松原、他2名）、鶴沢・代表（しおさい電力、他 Zoom）、大塚商工会長、永井千葉銀支店長、宮下（市民エネルギーちば）石田議長、内山市議、椿・事務局長（市民エネルギーちば）、Zoom 参加（松原：ISEP、西：アグリツリー、衣川：市民エネルギーちば）

<報告事項>

1 市の検討・進捗状況

○宮内市長より企画課を中心に横断的なプロジェクトを立ち上げ対応するよう指示が
でているが、課間での調整が遅れている。4月末までには体制が固まる見込みであり、
それを受けて正式に協議会に参加の予定。

2 メーリングリストの立ち上げ

○既に出来上がり、メンバーの登録を終了。追加希望者は事務局まで。
○メンバー以外の方については、メンバーから異論が無ければ登録は可とする。

3 他の事業者への働きかけの状況

○市内でバイオマス発電を行っているエコ・フードさんに打診したが、市が参画した協
議会が出来たら検討したいという意向。

<協議事項>

1 以下の配布資料を配布した。

- ① 評価委員会の委員名簿
- ② 脱炭素先行地域の選定・評価に係る配点表
- ③ 諸富座長（大大学院教授）の文献
 - エネルギー自治と地方再生
 - エネルギー自治・シュタットベルケ・地域経済循環
- ④ 福岡県みやま市の事例紹介
- ⑤ 豊和地区のソーラーシェアリングの収益を活用した地域づくりの事例
- ⑥ 申請書（一次募集）のひな形

2 松原（ISEP）さんから、ISEP が連携協定を結んで第一次申請に応募した秋田県大潟村 の事例の紹介がされた。申請は2ヶ月程度でできたとのことで、イメージもある程度共有

でき、頑張れば7月頃の申請も可能との思いを抱けた。

申請に必要な作業や流れ等については、再度レクチャーを受けることとなった。

3 今後の取組みとして以下を確認した。

- ① 今月中の市の正式参加をめざす。
- ② 市の担当を含めての作業チームをつくり、コンサルの力も借りて進めて行く。
- ③ 「先行地域（ゾーン）」の設定を含めて、申請書の下地となるイメージ案をそれぞれ（しおさい電力、FJTEC、市民エネルギーちば）が次回までに検討して出すこととした。
- ④ 市議、市職員、市民等を対象として脱炭素社会の必要性やそれが地域活性化や課題解決につながることを理解してもらう場を持つこととした。
 - ・ 5月下旬か6月上旬を目途にする
- ⑤ 農業団体（栄営農組合）等への働きかけ（協議会への参加など）をしていく。

4 定例会の時間について、今後は午後1時30分からとする。

※5月については、11日（水）、24日（水）の13：30～